

仲間と励ましあいながら登るトレッキング体験！

令和5年度 緑の少年団交流集会『富士山ニツ塚トレッキング』活動レポート

8月22日（火）に公益財団法人静岡県グリーンバンク主催による『緑の少年団交流集会ニツ塚トレッキング』が富士山御殿場口新五合目に集合し開催されました。県内の4団体の少年団、計18名の子供たちが参加。当日は小雨が降ったりやんだりの不安定な天候でしたが、ニツ塚山頂まで登頂することができました。

準備体操をしっかりとしてから出発！

当日は、天候が不安定なことから当初予定していた『ニツ塚～幕岩トレッキング』のコースを変更してニツ塚下塚山頂までの登頂となりました。まずホールアースのスタッフから、今日登る富士山の話やトレッキングの注意事項を説明。標高が約1800mあることから、登るにつれ空気が薄くなるので頭が痛くなったり体調が悪くなるという話を真剣に聞く子供たち。体調が悪くならないための方法としては呼吸の仕方が大切！ということでスタッフが山での呼吸法を子供たちに伝授しました。親指を立て口を吹くようにしっかりと息を吐いてから吸うという方法を教わり、その場で練習。その後、準備体操をしてよいよトレッキングスタートです。それまで降っていた小雨もやみ、子供たちも元気よく山頂目指して歩きだしました。

ホオジロや珍しい植物にも遭遇！

登り始めてから少し行くと、森の中から「チッチチッチー」というかわいらしい鳥の鳴き声がしました。「なんか鳥の声がする！」「ほらあそこの木の上にいるよ！」その方向を見ると小さな鳥が鳴いていました。「あれ何の鳥？」子供たちの問いかけにホールアースの鳥博士スタッフが、「あれはホオジロだよ」「ホオジロ？」「スズメくらいの大きさの鳥だよ」「へー、そうなんだ」と思いがけない出会いに会話が弾んでいました。またしばらく歩くと今度はギザギザ大きな葉に紫色の花を付けた植物に遭遇！スタッフが「これは富士山に多く見られるフジアザミというお花だよ。触るとすごく痛いから気を付けてね。」と教えてくれました。子供たちは恐る恐る手を伸ばしフジアザミに触れると「ホントだー！すごい固くて痛い！」「チクチクする！」とそれぞれ興味深そうに観察していました。

早くも弱音が…

登り始めてから約20分経った頃、子供たちから「もう疲れた。」「帰りたい。」との弱音が聞こえてきました。トレッキングコースは富士山の噴火して降り積もったスコリアでできていて歩くと軽く沈むのでとても歩きにくく、足に負担がかかります。歩き慣れない道に苦戦しながら「少し休もうよ〜。」という声。スタッフから「もう少し行ったら山小屋だからそこで休憩するから頑張れ！」との声に心なしか元気がでた様子の子供たち。足取りが重かったはずが山小屋が見えると嬉しそうに登って行きました。



注意事項を真剣に聞く子供たち



トレッキングの前にしっかりと準備体操！



トレッキングスタート！



フジアザミに遭遇！



早くも弱音が…



山小屋が見えた！

森林限界へ

山小屋でしばしの休憩をとった後、いよいよ本格的トレッキングコースの入口へ。ここからが本番！山小屋までのコースよりさらに勾配がきつくなり、周りの景色も徐々に変わってきました。高い木がほとんどなくなり、背の低い植物がまばらに生えています。そんな中、スタッフが登山道沿いに1本の木を指して、「この木はカラマツと違って触っても比較的痛くないから、握手できる木なんだよ。」と子供たちに声をかけました。子供たちは早速木と握手。「ほんとだ痛くない。」と言いながら実際に手で触れて感触を確かめていました。カラマツに別れを告げて、しばらく登ると景色がまた一段と変わり、木は無く背丈の低い植物だけが生えているゾーンへ。「そろそろ森林限界だから、高い木は生えていないよ。」というスタッフの言葉に周りを見渡す子供たち。出発前の富士山についての説明であった森林限界を目の当たりにして「地獄みたい。」「なんかすごい。」とそれぞれ感じている様子でした。その後も子供たちの体力も考慮し、休憩を取りながら山頂を目指します。疲れて足が痛いという子がいると、後ろから押してあげる子や、一緒に歌を歌いながら気持ちを鼓舞して登る子など、仲間を思いやって登っていく姿が印象的でした。

いよいよ山頂へ！お待ちかねの昼食！

最後の休憩を終え、いよいよ山頂目指してラストスパート！「山頂まであと5分位だよ。到着したら山頂でお昼！」というスタッフの声に「やったー！」「お腹すいた！」「早く行こう！」と急に元気がでた様子の子供たちは山頂目指して歩き始めました。最後の難所と言わんばかりの勾配を登り切り、いよいよ山頂に到着しました。そこには山頂を示す石碑があり、スタッフが「ここをタッチしたらゴール！」と声を掛けると、到着した子が次々に石碑をタッチ。中には、山頂まで登った達成感を噛みしめるように石碑に抱きつく子もいました。全員が無事に到着し、団ごとに分かれてお待ちかねの昼食です。残念ながら山頂は肌寒く、霧が立ち込め景色を楽しむことはできませんでしたが、各自持参したお昼を広げ美味しそうに頬張っていました。食事中だんだん霧が濃くなり、食事を終える頃には心配していた雨が降り出しました。皆慌ててカッパを来て、予定より少し早めでしたが下山を開始。雨もすぐに上がり、カッパを脱いで来た道を降りていきます。お昼を食べてしっかりエネルギーをチャージした子供たちは、登りとは違い下りは足取りも軽やかに滑るように勢いよく下山しました。

お土産のバードコール作り！

集合場所の駐車場に帰ってきた子供たちに嬉しいプレゼントが用意されていました。スタッフから「今からみんなにお土産を作ってもらいます。これから木とネジを配るからネジの部分に触らないようにね。」という説明があり子供たちに行き渡ると「これはバードコールといって鳥が鳴き返してくれたり、近くにきてくれたりします。」作り方を教わった子供たちは早速木の穴にネジを差し込みそれを2度3度と繰り返すと、チッチという鳥のような音が！作り終わると、鳥博士から鳥と仲良くする方法や注意点の話がありました。お土産作りが終わり、今日の感想の発表。「すごい足が疲れた。筋肉痛になりそう。」「意外ときつかった。」「足が沈むし、足がとられるし、転びしむすかった。」「山に登ったことがなかったけど、楽しかった。」「思ったより上の方が酸素が薄くなってよかった。」など手を上げて積極的に感想を述べていました。トレッキングは大変でしたが、良い経験と良い思い出ができた交流会になったように思います。



ここからが本番！



きつい勾配に



カラマツと握手



山頂までラストスパート



ゴールに感激！



みんなでお昼！



山頂で記念撮影



バードコールを上手に鳴らす子供たち